

「第17回紀伊半島三県議会交流会議」の概要は、次のとおりです。

- 1 開催日 令和 5年 8月 8日(火曜日)
- 2 開催場所 「和歌山城ホール」(和歌山市七番丁25番地の1)
- 3 参加者 奈良県議会 岩田 国夫 議長及び県議会議員 計 7名
三重県議会 中森 博文 議長及び県議会議員 計 6名
和歌山県議会 濱口 太史 議長及び県議会議員 計 6名
総計19名
- 4 合意内容 次のとおり、三県が協力の上、今後とも取り組んでいくことで合意した。

議題1:紀伊半島における観光振興

観光産業は、回復傾向にあるものの、依然、厳しい状況にあることが報告され、その状況からの回復を目指し、「紀伊山地の霊場と参詣道」を核とした周遊観光の仕掛けづくりや、国内外の誘客に向けたキャンペーンの必要性、物価高騰などの影響も踏まえた観光業界への支援の必要性などについて、意見が出されました。

併せて、議会における観光振興に関する議論の状況について報告がなされ、今後、関連施策の審査・調査等を行うにあたり、議会が果たす役割について認識を共有しました。

令和6年の熊野古道世界遺産登録20周年、令和7年の大阪・関西万博開催などの好機を生かしたイベントの開催や情報発信など、三県の連携による新たなファン・リピーターの獲得のための機運醸成や、周遊観光、長期滞在の推進が着実かつ効果的に進むよう、議会として取り組むとともに、観光業界への支援及び紀伊半島の観光振興に重要な半島振興法の期限の延長について国に対し要望していくことで合意しました。

議題2:林業従事者の育成・確保を図る取組について

林業従事者の減少や高齢化等により、新規就業者の育成・確保、既就業者の定着率向上といった様々な課題について報告がなされ、その対応として、アカデミーの開校等による人材育成、都市部の就業希望者を対象とした説明会の実施等による林業従事者の確保、木材利用の促進、森林環境譲与税の有効活用、加えて、議会の取組として、議員提出条例の制定による木材利用の推進等について意見交換を行いました。

今後も、林業技術の伝承、林業の魅力発信など林業従事者の育成・確保がしっかりと進むよう、三県議会としても、より一層連携を強化し、情報共有を図っていくとともに、国に

対し森林環境譲与税の配分基準の見直しを要望していくことで合意しました。

議題1、議第2共通：観光振興及び林業振興を図るための道路整備

観光振興及び林業振興を図っていくためのインフラ整備の重要性についても意見交換を行いました。

今後、紀伊半島一周道路の整備や県をまたぐ広域林道の整備等について、国に対し要望していくことで合意しました。